



前・長生村長

# 石井としお通信

[Http://www9.ocn.ne.jp/~tishii/](http://www9.ocn.ne.jp/~tishii/)

2013年1月 第94号

石井としお後援会

長生村七井土 1387-2

電話 090-3094-0321

## 「25年避難タワー建設」…小高村長。

新年、おめでとうございます。

昨年中は石井村長3期目に向け、皆様より沢山のご支援を頂き、ありがとうございました。石井後援会は新たな気持ちで出発します。昨年12月の国政選挙では自民が圧勝し民主の惨敗でした。また第3極を目指した「維新の会とみんなの党」が躍進しました。今後は復興再建、脱原発、脱貧困、反TPP、憲法を守ることなどが大事と考えます。以下、石井前村長からの報告です。



—復興再建を願う福島の宿にて—

### 12月議会開かれる

12月議会が11日～14日まで開かれました。

①同意案件として教育委員に木島晃一氏が再提案され山口、ましこ、石川の3議員が反対し、賛成多数で承認されました。

②一般会計の補正では、一松小・同保育所への救命胴衣配備、及び希望する村民に補助。公用車運転手臨時費用、議会質疑の庁舎内テレビ放映予算などが可決されました。今まで村議会は議会の質疑を録音させなかったが、今後は睦沢町同様、録音が可能となるものと認識します。

### 村長運転手・復活

補正でびっくりしたのは公用車運転手の臨時費用として378千円が成立したことです。私の村長時代、経費節減・血税の効果的利用のために廃止した「村長用黒塗り公用車・その運転手」の運転手復活です（議会議長専用黒塗り公用車・その運転手は依然廃止されていません）。村民のための改革が、一つずつなし崩しにされるのを見過ごす訳にはいきません。血税のむだ遣いを止めるよう求めます。小高村長の公約、報酬3割削減の精神が疑われます。

### 一般質問の質疑より

◆石川議員…①石井村政における入札の改善と評価について。②子供達の通学路の安全確保。③経費節約でPPS(特定規模電気事業者)を含めた電力入札などの質問。小高村長、担当課長より「①石井村政の評価は落札率が下がった。落札率が下がっても工事に支障はなかった。委託費の最低制限価格は設定したい。」との答弁。

◆山口議員…①子供の臓器移植。②自治基本条例の制定。③七井土交差点近くの「鉄くず山積み」などについて質問。下水環境課長より「七井土の鉄くずについては住民より苦情もあった。業者と協議し今週中に改善することになっています。」との答弁。

◆阿井議員…「石井前村長が増やした村の預金をもっと使うべきだ・入札制度で業者にダンピングさせている・業者の育成が必要だ」との質問。

※阿井議員は村長選の時「石井村長は村の預金を6億増やしたと言うが、それは嘘。村は茂原市にまさる借金がある。作ったのは石井村長だ。」と街宣車で言っていました。

今回の質問で「石井前村長が増やした村の預金。」と見解を変えました。選挙の時に嘘で有権者をあざむいた責任はどうとるのかです。また入札に関しては「村の平均落札率90%前後をダンプینگ」と断定しています。さらには「今後は業者の利益を確保せよ」とのことです。

しかし、村の90%前後の落札率は、談合が無いと思われる全国平均落札率80~88%に比べて遜色はありません。談合が無く業者間の受注努力・競争があればこの数字となります。「不当に値切り不適正工事を招いた。」との主張は誤りです。「業者育成」と言う血税の無駄遣いの奨励こそ正さなければなりません。

◆他に、小高村長から「津波対策は委託設計会社の報告があり、避難タワーを25年度に一基作る考え。」との答弁もありました。



—鉄くず山積み現況 12月14日—

## 石井後援会で改善要望

12月24日、石井後援会は七井土交差点近くの産業廃棄物業者(株)長生商店に対し、住宅密集地なので一日も早く「鉄くずの山積み」を改善するよう申し入れました。

## 福島で脱原発学習会

12月15日、脱原発首長会議の学習会が福島県郡山市で開催されました。学習会は独、仏から

も参加。再生可能エネルギーの現状などの報告を聞きました。福島からは原発事故後の被災者報告を受けました。



## 「3万人が避難生活」

◆南相馬桜井市長(主催者)…今日は全国各地、ヨーロッパからも参加を頂き感謝いたします。南相馬市は去年の地震津波でマグニチュード9。津波は20Mで636人が亡くなりました。また、原発事故で7万人が避難し一時は1万人でした。アメリカまで避難した方もいます。交通が遮断され市民は自らの力で避難したのです。除染の問題、放射能の不安はいまだ消えず5500人の市民はすでに転出しました。今、まだ3万人が自宅を追われ避難生活です。我々首長は住民の命を預っているが、原発の安全神話を言ってきた国と東京電力は責任を取っていない。

## フランス・ドイツも参加

◆フランス…同時に開催されているIAEA会議(国際原子力機構)は被災者の代表が入っていない。天木事務局長は「1986年のチェルノブイリ事故後、放射能汚染した土地は安全になり経済活動に復帰した。福島では水素爆発によって幾ばくかの放射性物質が放出された。」と言っている。この発言は問題である。

◆ドイツ…チェルノブイルの原発事故後、原発ではなく再生可能エネルギーの推進に取り組んでいる。バイオマスや太陽光などが普及し、現在110万箇所の個人と事業所が設置をした。市民

の貢献が大きい。国は2020年までに脱原発に向けたプロセスを完成させている。日本も脱原発に向けたプロセスを作ること。私達は脱原発首長会議に対し専門チームを作り予算も確保すべきと思います。私達の経験をアドバイスしたい。

◆三上湖西市長…原発は先進国で減らす方向、ベトナムなど後進国は原発を増やす方向です。原発は事故や再処理で莫大なお金がかかることを知らせなければならない。

## 福島・原発被災者の声

◆福島被災者より…私は「子供達を放射能から守る福島ネットワーク」で活動しています。妻と子供は放射能が心配で京都に避難していますが、仕事には就けていません。自分の収入は全て妻に送っています。自分は預金を下ろしての生活です。福島の子供は放射能が心配で屋外では遊べない。被災前と比べて小学生未満は体重の増加率が全国平均を下回り、小学生は逆に全国平均を上回っている。逆転現象です。

## 国に対し声明文確認

脱原発首長会議は「脱原発と被害者への救済を国際的に求める」など3項目を会議で確認し、声明を日本政府機関に発することとしました。※郡山の宿では「一羽の鶴」がベッドの上に何気なく置いてあり、心に強く残りました。一日も早い復興を願って帰路につきました。

## 沖縄オスプレイ視察

12月3日～5日、沖縄に行きました。一日目、首里城では「日本の政府軍が首里城に攻めてきたが、王様は戦わず城を明け渡した。」とのこと。圧倒的な武力を前に流血を避ける道を選んだことの無念さが感じられました。夕方には宜野湾市民会館で社民党・照屋候補の決起集会に参加。平和講演会の講師として来村した糸数慶子国会議員にも再会しました。さらには3期目を目指し立候補する友人の護憲派北中城新垣村長

への激励にも行きました。



—普天間飛行場ゲート入り口で—

## 「小学校上空に爆音」

二日目は普天間飛行場入り口で、オスプレイ反対を訴える方々に合流。「危険なオスプレイは撤退してほしい。走行中の皆さま、ご協力を」と、プラカードで訴えていました。その声に走行中の車という車から連帯のライト点灯、クラクションが響きわたりました。午後1時30分、上空にオスプレイが爆音を響かせ普天間飛行場から飛び立ちました。琉球村では、「普天間第2小学校の子どもがサッカーの練習中にオスプレイが低空飛行で怖かった。」との話題。一日も早い「沖縄の基地負担の軽減」を強く願いました。

## 「金を使わなく・落選」

複数の方より耳にしました。「石井前村長はお金を使わないので落選。」との声です。確かに昔の長生村は金権買収選挙が当たり前でした。今回の村長選は当選した小高村長自らイチゴやジャムを配り、「投票日にも違反行為を行なった。」という声も聞きます。本当ならば公職選挙法違反となり、犯罪です。

私は議員と村長選挙を含め4回経験しましたが、金権買収選挙は一切行っていません。山梨県西桂町では町長選で妻がウナギを配り町長が失職し、議会も解散させられています。今後は物品を含めた買収選挙は絶対に無くさなければなりません。清く正しい選挙が行なわれるよう、選管と警察に強く要請します。

# 「幸福の科学・課税は？」

—12月議会傍聴座談会—

◆石川議員は村当局とのやり取りで、「(石井前村長の在任初年の H17 年度から入札の落札率が下がったことの弊害については)不適切な工事や遅延はなかった」との答弁を引き出した。これは、一部議員グループが長生中の体育館屋根工事の瑕疵を当時の石井村長の施政ミスだと問題視した件への明確な否定だ。小高村長も「工事の変更は村に報告し、協議することになっていたが設計管理・施工業者が村抜きでやってしまった」と受注業者の契約不履行を認める発言をした。理解できる質問でした。

◆腰を抜かすほど驚いたのは、休憩中に一人の議員が先に答弁した課長さんの所に行き何か抗議をしていました。一人の課長さんは立ち上がって深々と頭を下げて謝り、もう一人の課長さんは座ったまま何度も謝りついに下を向き萎縮してしまっただけでなく、自らも一般質問をし、執行部と正々堂々と論戦をすべきかと思えます。

◆メモも取らず、資料も見ず、一般質問もせずにそこにいるだけの議員が多い。野次だけは元気の良い議員がいていやになりました。

◆関議員の「ゴミ袋値下げ」や井下田議員の「子ども医療費を中3まで現物支給を求める」質疑などは住民目線に立った、生活に密着したもので日頃の議員活動の充実ぶりがうかがわれる良い質問だった。このような議員は評価できます。

◆今回の議長の議事運営は質問者や当局へのアドバイスも含めてよかった。ただ、質問中にヤジを飛ばす議員に対しては注意してほしい。公正中正な議会にしてほしい。

◆9月議会で小高村長は「私の判断で幸福の科学に課税する。」と言い切っています。「幸福の科学への課税」はどうなったのか？納付書の発行はいつするのか。「弁護士に相談して決める」とは選挙で一言も言ってなかった。村民に約束した公約は一日も早く実施すべきです。小高村長

の行動を直視する必要があります。



## 年末大忙し青海苔作業

昨年の青海苔生産は夷隅と白子が不作でしたが、長生村は年末になって獲れました。青海苔は村の大切な特産品です。生産が続くよう水質などの環境を保護していきたいものです。今年の正月も美味しい青海苔を賞味し雑煮を食べられました。新しく村民になられた方からも「これは美味しいですね。」との声でした。

## 合併再燃？編集後記

◆毎年開催してきました石井としお後援会の新年会は「今回、中止します。」尚、4月開催の後援会定例総会と8月のブドウ狩りは実施いたします。是非、ご参加下さい。

◆昨年の国政選挙で自民党が票を減らしながらも小選挙区では43%の支持で79%「237議席」を獲得。民意の抹殺です。今後は、少なくとも元の中選挙区制度に戻し民意を反映することが必要と考えます。

◆石井としお通信90号でお伝えしましたが、茂原市長は2期目の立候補で「やり残したことは合併。長生村の石井村長がいるから合併できなかった。」と言い切りました。昨年の選挙で自民党、維新の会が「道州制を進める」と言っています。道州制は市町村合併を前提とするものです。今後、合併の話が出てくるものと推測します。

◆この通信は石井後援会員の会費1000円と募金で発行しています。会員募集中です。